

関西学生秋季リーグ戦

2025年9月27日～28日

会場：福知山三段池テニスコート

【男子】1部リーグ

<1日目>

一試合目

立命館大学④-1 天理大学

二試合目

立命館大学③-2 同志社大学

三試合目

立命館大学 2-③関西外国語大学

<2日目>

四試合目

立命館大学③-2 関西学院大学

五試合目

立命館大学⑤-0 大阪商業大学

立命館大学・・4勝1敗<優勝！！>

【女子】1部リーグ

<1日目>

一試合目

立命館大学 1-②同志社大学

二試合目

立命館大学②-1 関西外国語大学

三試合目

立命館大学 1-②神戸松蔭大学

<2日目>

四試合目

立命館大学 1-②関西大学

五試合目

立命館大学②-1 関西学院大学

立命館大学・・2勝3敗<5位>

【男子】結果詳細

<一試合目>

立命館大学④-1天理大学

小島藤本④-1石井川俣

小山中野1-④平川玉置

村井④-1深堀

山内小杉④-3(8-6)川口谷本

渡部斎明寺④-1岩井實重

リーグ戦の初戦、1番

1番小島・藤本ペア、1ゲーム目、小島選手のカットサービスがさえ、相手レシーブをすべて藤本選手がすべてボレーポイントで決める幸先の良いスタート。2番小山・中野ペアが敗れるが、シングルスで村井選手が安定した試合運びで完勝。4番、山内・小杉ペアが、ファイナルジャースで勝利して、天理大戦の勝利を決めた。



藤本選手（2回生）



小島選手（1回生）

<二試合目>

立命館大学③-2同志社大学

小山 中野1-④清水宮田

小島 藤本④-1貴志阿部

村井④-2長根

山内 小杉3-④(9-11)松本長根

渡部 斎明寺④-1塙本盛岡

1番小山・中野ペアは、相手一番手後衛とのハーダなラリーに耐え、頑張ったが敗戦。

2番、小島・藤本ペアが、安定した試合運びで完勝。

3番シングルス村井選手、1ゲーム目、相手の強烈なバックストロークが右ストレートに炸裂して落とし、2ゲーム目も0-2とリードされた。しかし、村井選手は動じずに3ポイント目を奪取・・

<このポイントが同志社戦の行方を決めた>

ここから、徐々に村井選手のペースに持ち込み、見事に勝利した。

4番、山内・小杉ペアは、天理大戦に続き、またもやファイナルジュース、アゲインを繰り返すが惜敗。天秤となった5番渡部・斎明寺ペアは、渡部選手の長く安定したボール配球に、斎明寺選手の思い切ったスマッシュがよく決まり、同志社戦の勝利を決めた。



斎明寺選手



渡部選手

三試合目

立命館大学 2-③ 関西外国語大学

小山 中野 3-④ (6-8) 濱本 黒木

小島 藤本 3-④ (6-8) 中山 菅原

村井 ④-2 岡野

山内 小杉 ④-2 森堀

渡部 斎明寺 0-④ 海野 樽井

1番 小山・中野ペア、2番 小島・藤本ペアとともに、ファイナルの接戦となるが、相手前衛の神業ともいえるような好プレーに阻まれて敗戦。

3番 シングルス 村井選手はリードしては追いつかれる展開となるが、村井選手の実力が勝り、相手を引き離して勝利。4番 山内・小杉ペア、リードしても相手前衛のスーパープレーで追いつかれるパターンが繰り返されたが、それを振り切って勝利し天秤に持ち込んだ。

5番 渡部・斎明寺ペア、4番の終盤からの2面展開となり、ナイターの照明の中での決戦となった。本日、2連敗中の関西外大ペアに死に物狂いでぶつかってこられて敗退。



村井選手（1回生）・・リーグ戦シングルス5戦全勝

1日目は、2勝1敗。

2勝1敗が3大学、1勝2敗が3大学
という混戦で初日が終わった。

＜2日目＞

立命館大学③-2関西学院大学

小山・中野1-④三上福井

小島・藤本④-1小野田・鍛治田

村井④-1中内

山内・小杉④-2後藤・酒井

渡部・斎明寺2-④坂本結城

1番小山・中野ペア、相手後衛の鋭く安定したストロークが炸裂し、敗戦。

2番小島・藤本ペア、小島選手のカットサービスが冴え、随所で藤本選手のボレー・スマッシュが決まり勝利。小島選手の落ち着いた配球が光っていた。

3番シングルス村井選手、バックストロークが相手コートに厳しく突き刺さり、圧勝。

4番山内・小杉ペア、勝てば優勝に大きく近づく試合に、山内新主将が1回生小杉選手とのペアで登場。

山内選手は、昨日の反省を生かし、攻守のメリハリをしっかりとつけたプレーを展開、小杉選手のボレー・スマッシュポイントに加え、フォローも冴えて、堂々の勝利。勝った瞬間、胸を熱くしていた山内選手の表情が良かった。

5番、渡部・斎明寺は敗れた。



山内・小杉ペア

優勝に大きく近づく勝利の後、応援の皆さんにハイタッチで迎えられる・



第5試合

最終戦、これに勝てば優勝が確実となる。

相手の大阪商業大学は、昨秋、久々に1部リーグに復帰して力を付けてきたチーム。

立命館大学⑤-0大阪商業大学

小山・中野④-3佐々・神谷

小島・藤本④-2堀谷・宮田

村井④-3西川

山内・小杉④-3笠原・西村

渡部・斎明寺④-0竹内・北川

1番、小山・中野ペア、今大会は常に相手のトップペアとの対戦が続き、苦しい戦いが続いていたが、小山選手の重いボールが相手後衛を苦しめ、要所で中野選手が渋いボレーを決めて、ファイナルで勝利した。

2番、小島・藤本ペア、2日間のリーグ戦の試合が続くなかで、ペアの組織力で戦う形が仕上がってきました。

安定した戦いぶりで勝利。

3番、村井選手、これまで接戦を繰り広げながらも4連勝中、最後の相手は、長身で長いリーチでラケットを振りまし、鋭いボールを左右に打ちを分ける強敵、ファイナルにもつれ込んだ。仲間の応援「栄光の架け橋」の大合唱の中でファイナルゲームが始まり、ついに勝利、チームの優勝を確実なものにした。村井選手は、本リーグ戦5戦全勝の大活躍だった。

4番山内・小杉ペアはファイナル勝ち。

5番渡部・斎明寺ペア、斎明寺選手は4回生最後の最終戦、後輩たちの「サイ、サイ、サイ、サイ、サイミョウジ」の大合唱の応援の中、斎明寺選手は楽しい中でも、スーパープレーを連発し、④-0の完璧な試合で締めくくった。

立命館大学は4勝1敗で3年ぶりの優勝となった。



小山・中野ペア（1回生ペア）



大声援の中、有終の美を飾った斎明寺選手（4回生）



3年ぶりの1部リーグ優勝です。



峯田総監督の胴上げ

女子・・結果詳細

＜一試合目＞

立命館大学 1-② 同志社大学
上田・山住 2-④ 馬渕・佐々
柴田 ④-2 中尾
津波古・高谷 0-④ 堀・吉根

＜二試合目＞

立命館大学 ②-1 関西外国語大学
上田・山住 0-④ 片山店・竹田
柴田 ④-1 安保
津波古・高谷 ④-3 小西・山内

3番 津波古・高谷ペアは、ゲームカウント 0-③
からの大逆転勝利

＜三試合目＞

立命館大学 1-② 神戸松蔭大学
上田・山住 ④-2 石原・木宮
柴田 0.-④ 本間
津波古・高谷 1-④ 岩元・服部

＜四試合目＞

立命館大学 1-② 関西大学
津波古・角田 0-④ 江口・武田
柴田 ④-2 柴田
上田・山住 3-④ 大村・多鹿

＜五試合目＞

立命館大学 ②-1 関西学院大学
上田・角田 2-④ 藤井・奥山
柴田 ④-2 福嶋
津波古・高谷 ④-1 富永・村本

敗れたチームが入替戦となる可能性大の最終戦となった。

1番 上田・角田ペア（1回生ペア）は、先にリードを許してしまい、必死で挽回するも敗れた。

2番 シングルス柴田選手。立命館の大黒柱として、また、新幹部の副将として、緊張した状況の中で実力を發揮し、持ち前の鋭いボールでのポイントを重ねて堂々の勝利。

3番 津波古・高谷ペア（2回生ペア）。1日目の高谷選手は、いつもより少しミスが多く心配されたが、ここ一番の大勝負で本来の力をしっかりと発揮した。相手前衛のボレー・スマッシュを何本もフォローし、また、スマッシュをミスなく確実にポイントにつなげた。このような、高谷選手の活躍は、後衛の津波古選手の辛抱強い、長いボールでのラリーが支えがあってこそだった。津波古選手の、滞空時間の長いロビングは、相手後衛を苦しめ、ときおりくりだされる、角度のあるシュートボールが生きていた。



柴田選手（3回生）

（関西大学戦では、妹との対戦となつたが、勝利した。）



津波吉選手（2回生）



高谷選手（2回生）